

## 令和5年度第2回日田市中小振興推進会議委員発言記録（概要）

日時：令和5年7月26日（水）14：00～

場所：日田市複合文化施設アオーゼ

3階 体験学習室2

### 【協議事項 計画目標の達成状況について】

#### ○事務局

- ・資料1より「日田市中小企業振興計画の数値目標・重要業績評価指標（KPI）の達成状況」を説明

#### ○委員長

- ・質問や意見などはあるか。

#### ○OC委員

- ・事業の達成や未達成の状況というのは、各業界からの聞き取りを行ったほうがよいかと思う。製造業界はどのような状況なのか。

#### ○OF委員

- ・製造業界は、全体的には下がっている状況である。インバウンド需要に対応するため、観光業界などからの業務用商品の売上が伸びている。個人用商品の売上は、コロナ禍で伸びていたが、現状は減少してきている。

#### ○OI委員

- ・P4に記載している、「ひた・くす合同企業説明」は年何回開催しているのか。
- ・P4「女性・若者・シニア起業支援資金」の実績が6件だが、内訳はどのようになっているか。

#### ○事務局

- ・「ひた・くす合同企業説明会」は、例年2月に高校2年生を対象に年1回開催している。
- ・女性・若者・シニアの6件の内訳については、詳細がわからないので、わかりしだい回答する。

○I 委員

- ・「ひた・くす合同企業説明会」の開催を1回でなく、数回しなくて良いのか。

○事務局

- ・「ひた・くす合同企業説明会」の開催については、各高校の先生を含めた実行委員会で開催回数や開催時期を決めている。次回の実行委員会では、この意見を提案してみる。

○委員長

- ・その他質問や意見はないか。

【協議事項 実態調査の結果について】

○事務局

- ・「令和5年度日田市中小企業実態調査報告（案）」より、説明。

○委員長

- ・調査報告（案）のP9で事業承継の調査報告では、「事業承継の予定がない」事業所の割合が半分以上占めているが、その理由はわかるか。

○事務局

- ・事業承継をしないの理由までの設問は、設定しないためわからない。

○委員長

- ・「デジタル・IT化計画の有無」や「設備投資計画の有無」など、「昨年に実行した」「資金不足のためできない」など、行わない理由を設問に盛り込むこと。

○事務局

- ・支援していくためにも行わない理由をしっかりと調査を行うことが必要だと考えるので、次回の調査に参考させていただく。

○委員長

- ・他に質問や意見はないか。

#### ○H 委員

- ・P6の「価格転嫁がうまくいっている（サービス業）」と記載されているが、この業種はどの業種か。

#### ○事務局

- ・今、調査票の個別詳細は、持ち合わせてないのでわからない。後日、「価格転嫁がうまくいっている」業種については、連絡する。

#### ○F 委員

- ・製造業は、協会全体で一斉に価格転嫁（値上げ）を3回行った。しかし、この価格転嫁（値上げ）が消費者に受け入れられるかが問題であり、受け入れられなかったら売上減少になってしまう。

#### ○C 委員

- ・日田市に事業承継に特化した相談場所があるのか。

#### ○事務局

- ・日田商工会議所、日田地区商工会議所、日田市ビジネスサポートセンターで事業承継についての相談業務を行っている。
- ・大分県事業承継・引継ぎ支援センターが中心となって行っている。
- ・事業承継は、風評被害に繋がる危険性があるため、情報共有が難しい。

#### ○C 委員

- ・事業承継をしたい事業所と創業したい人とのマッチングが良いと思う。
- ・調査結果方法の業種の「サービス業ほか」は、カテゴリーとして幅が広いので細分化を要望する。

## 【協議事項 専門部会の報告、意見交換会】

### OC 委員

- ・中小企業振興条例・中小企業振興計画の数値目標・重要業績評価指標（KPI）の説明を受けた。
- ・専門部会で「創業の促進」「地域ブランディング」の今後の進め方について協議を行った。
- ・「創業の促進」については、「事業承継」を含めながら協議を行っていく。
- ・「地域ブランディング」については、「若者が日田にとどまってい」ためにをテーマとして協議を進めていくことに決定をした。

### ○委員長

- ・専門部会の報告について質問意見はあるか。
- ・各業界の現状について報告を求める。

### OA 委員

- ・来年春の求人件数は、昨年の6月末時点と比較して、大分県全体で14%増えている状況。
- ・今年度の日田・玖珠管内の高校卒業予定者の就職希望者は、約200人となっている。

### OB 委員

- ・創業支援については、日田市ビジネスサポートセンターと連携していく。
- ・創業後のフォローアップが必要と考えている。
- ・独自で行っている景況感の調査結果は中小企業実態調査と同じ傾向を示している。

### OC 委員

- ・事業所ごとに、経営課題は異なっているが、前向きな事業や改革を行っている事業所は、業績が伸びてきている。
- ・事業所は、自分たちが販売している商品に自信を持って付加価値をしっかりとつけていく自助努力をしなければならない。

#### OD 委員

- ・ 4年ぶり祇園祭りの顔見世の開催、各商店街の夏祭りの開催予定、ツールド九州の開催予定など、例年のイベントが再開している。コロナ禍で落ち込んだ売上減少をイベント通じて復興の起爆剤となしてほしい。

#### OE 委員

- ・ 私自身も父から事業承継を行って、経営を行っている。最初の時期は、経営についてわからないことがあったので、県の事業承継センターなどからの支援を受けながら事業承継を行っていればスムーズに事業承継できたのではないかと感じている。事業承継の支援を行う機関が知られていないのが現状なので周知が必要だと感じている。

#### OOBザ

- ・ 創業支援の強化、物価高騰の中でLPガス・電力の激変対応への支援を行っていく。

#### OI 委員

- ・ 日田駅前にあるミストが風で流れてしまい、涼しさが半減している。
- ・ 祇園の顔見世が日曜日開催で、日田市内の方からも良かったと声がある。

#### OH 委員

- ・ 祇園の顔見世が日曜日開催で、県外のお客さんから喜びの声があった。
- ・ 事業承継の周知及び支援を強化していく。

#### OG 委員

- ・ 中小企業実態調査結果のBCP作成状況で作成していない事業所が多い結果なので、BCPの必要性や周知の強化を行っていく。

#### OF 委員

- ・ 人材不足が直近の問題である。他県からでも募集し、雇用している状況である。シニア世代をパートや時短で雇うことができないかを考えている。

○事務局

・I 委員から質問があった、令和 4 年度の女性・若者・シニア企業支援資金の内訳は、女性が 1 名、男性が 5 名、40 代が 1 名、30 代が 5 名、飲食業が 2 名、建設業が 2 名、小売業が 1 名、林業が 1 名の構成となっている。

○事務局

・次回日程 令和 5 年 7 月 26 日（水） 14：00～

【閉会】 15：30頃終了